

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

記入年月日
令和 2 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名 (Silver人材センター助成事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (010601000003), 政策体系 (0106 高齢者福祉の推進), and 予算科目 (老人福祉総務事業).

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table (1) 事務事業の概要. Left column: ①事務事業の概要 (目的・内容). Right column: ②担当が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 3 main sections: ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), ③意図 (成果指標). Includes data for membership numbers and health indicators over 5 years.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing input costs and personnel counts. Columns for 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), and 期間限定総投入量.

Table comparing actual costs for 01年度 and budgeted costs for 02年度 across different categories, including a total row.

事務事業名	シルバー人材センター助成事業	事務事業No.	10601000003	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
市シルバー人材センターは、高齢者が生活しているエリアを単位として、ともに働き、ともに助け合っていくことを目的に新しい就業システムとして構築された公益社団法人である。平成18年度に旧町村単位だった組織を市シルバー人材センターとして一本化し、身近な就労の場として会員を随時募集している。近年は、新規会員の数が減少し、受注件数も減ってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
市シルバー人材センターから「補助金の減額を視野に入れて企業努力を行っていく」との意見が挙がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市シルバー人材センターの運営に対し補助を行うことで、高齢者に就業機会を提供することになるため、高齢福祉の推進に結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第40条により必要な措置を講ずるよう求められており、また厚生労働省による事業の執行方針が地方公共団体が応分の補助を行うことを前提に規定されているため、妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 会員数を増加させる余地があるため、市シルバー人材センターが適正に運営できるよう補助していく必要がある。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の生活の充実を図るため、就業機会を提供する団体としての役割は重要性を増している。市が運営費補助を廃止した場合、国庫補助金も廃止となるため廃止及び休止はできない。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 適正に事業を行うための補助であるため、統廃合や連携はできない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 適正に事業を行うための補助であるため、これ以上削減すると安定した事業運営を損なう可能性があり、削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 適正に事業を行うための補助であり、会員全員が受益者であるため公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	会員が減少傾向であることから、会員を増加させることで、市内の高齢者の生きがいと健康づくりが推進されることが必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						X					X
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
				X																						
				X																						
市シルバー人材センターからの要求に基づいて補助を増額したことから、事業の適正な運営と会員の増加のための施策を講じるよう求めていきたい。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>